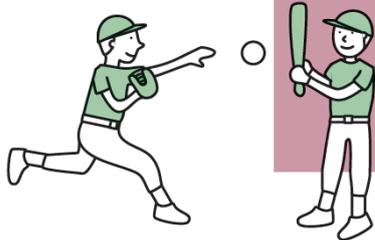




八王子市 多摩ニュータウン まちづくり方針



平成31年(2019年)3月

八王子市

多摩ニュータウンの持続可能なまちづくりをめざして

多摩ニュータウンは、昭和30年代の高度経済成長期に、首都圏の大幅な人口増加による深刻な住宅難に対応するとともに、多摩地域での無秩序な住宅開発を防ぎ、居住環境の良い住宅を大量に供給することを目的として計画されました。

地権者の皆様の多大なる御理解と御協力により、本市においては、昭和51年(1976年)の鹿島・松が谷における入居を皮切りに、住宅をはじめ、業務、商業、教育、文化などの様々な施設が整備され、多くの方々に住んでいただくまちとして発展してきました。

現在も住宅の建設が進む地域では、新たな住民の方々に選ばれて住んでいただき、まちとして発展を続けています。また、相模原市橋本駅付近に計画されているリニア中央新幹線神奈川県駅の整備では、交流人口の増加などが予測されており、多摩ニュータウンにも様々な好影響がもたらされるものと期待されています。

まちのさらなる発展が期待される一方で、人口減少や少子高齢化の進展、都心回帰といった社会情勢により、多摩ニュータウンを取り巻く環境は大きく変化し、誰もが住み慣れた地域でいきいきと安全・安心に暮らせるまちづくりがより一層求められています。

こうした状況を踏まえ、多摩ニュータウンの将来像を明確にして、地域の皆様や企業、大学など多様な主体の連携・協働によるまちづくりを進めるため、「八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針」を策定しました。

本方針には、将来像・方針とともに、施策の展開ごとに取組みを示しています。住みたい、住み続けたいと思われるまちの実現に向けて、地域や時代のニーズを的確に捉え、豊かなみどりや住宅、学校、公園などの地域資源を最大限に活用し、地域に活力を生み出すとともに、まちへの愛着を育む様々な取組みを多様な主体と連携・協働して推進していく所存です。

本方針に掲げた取組みを着実に実施することで、将来にわたり多摩ニュータウンを、みどり豊かな活力ある魅力あふれるまちとして後世に引き継ぐ持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、本方針の策定にあたり、検討に御協力いただきました懇談会の皆様をはじめ、ワークショップやパブリックコメントにおいて、多摩ニュータウンのまちづくりへの熱い思いを寄せていただきました多くの市民の皆様や、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

引き続き、本市のまちづくりに御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年(2019年)3月

八王子市長

石森孝志



目次

1	はじめに	1
1-1	方針策定の背景・目的	2
1-2	本方針の位置づけ・役割	3
1-3	対象区域	3
2	多摩ニュータウンの概況	5
2-1	多摩ニュータウンの沿革	6
2-2	多摩ニュータウン八王子市域の現況	8
2-3	多摩ニュータウン八王子市域の将来展望	19
2-4	課題の整理	22
3	多摩ニュータウンの将来像とまちづくりの方針・施策展開	23
3-1	多摩ニュータウンの将来像	24
3-2	まちづくりの方針と施策展開	28
3-3	目指すまちの姿・方針・施策展開取組み一覧	47
4	将来像の実現に向けて	49
4-1	将来像実現に向けた推進体制	50
4-2	将来像実現に向けた取組みの推進	53
4-3	先行取組み事例	54
5	検討体制	57
5-1	多摩ニュータウンまちづくり方針策定庁内検討会	58
5-2	多摩ニュータウンまちづくり方針策定に係る懇談会	61
5-3	多摩ニュータウンまちづくりワークショップ	64
5-4	パブリックコメント	88
6	おわりに	101
6-1	今後のまちづくりに関する提言	102
	参考資料	105
	用語集	106

